

# はばたき

特集

マタハラ・パタハラのない社会へ

男女いきいき蒲郡  
明日へ！  
帆に新しい風を

## 男女共同参画推進事業報告

(平成30年4月～10月)

- ・男女共同参画サテライトセミナー
- ・男女共同参画ワークショップ
- ・婚活応援事業

「パーティーゲーム de 婚活」

「大人の鍋コン～作って、食べて、恋をして～」

「マッチングテラス」

## 男女共同参画啓発事業

川柳・ポスター・習字の入賞作品決定！

「私らしいハッピーキャリアの  
法則をみつけるために」



(株)キャリアデザイン 代表取締役 樋口貴子 先生

1級キャリアコンサルティング技能士の樋口貴子先生をお迎えし、しなやかに、自分らしく働くためのヒントをお話いただきました。

# マタハラ・パタハラのない社会へ

## マタハラ・パタハラとは？

マタハラはマタニティハラスメントの略で、パタハラはパタニティハラスメントの略です。  
(パタニティは英語で「父性」という意味です。)

働く女性が妊娠・出産・育児を理由に不当に解雇、自主退職を強要されたり、働く男性が育児休暇や育児目的の短時間勤務制度を活用し、育児参画することに対して職場で精神的・肉体的な嫌がらせを受けることを指します。



## ハラスメントが起こる原因は？

根深い性別役割分業の意識と、長時間労働が当然と思われる風潮が原因の一つとなっています。残業が当たり前であったり、有給休暇取得率の低さ、人員不足によるしわ寄せを受ける社員の不満からマタハラ・パタハラが生じていることがうかがえます。ハラスメントは次の4つに分類される場合があります。

### 古い価値観押し付け型

- 「女性は家庭を守るもの。育児に専念すればいい」
- 「子供を第一に考えたら仕事は辞めるべき」
- 「旦那が働いてるのなら無理して働かなくていい」
- 「男性が育休をとるなんてありえない」

世代による  
考えの違いを  
理解できない



### パワハラ型

- 「正社員なのに時短勤務なんて許さない」
- 「育休なんか使ったら役職から降りてもらおうぞ」
- 「妊娠は自己都合だから特別扱いはしない」
- 「病気じゃないのだから検診は休日に行くべき」

妊娠・育児を  
理由に時短  
勤務や休む  
ことを許さ  
ない職場風土



### いじめ型

- 「あなたへのフォローで周りが迷惑をしている」
- 「つわりぐらいで休むなら辞めたら？」
- 「妊娠を理由に楽してズルしてる」
- 「大きなお腹で仕事をするのはみっともない」

業務のカバーを  
させられる  
同僚の怒りが  
労働者に  
向いてしまう



### 追い出し型

- 「産休・育休の制度はないので退職となります」
- 「生産性が落ちるので部署異動してもらいます」
- 「育休を取得したら戻ってくる場所はないよ」
- 「残業できない社員は必要ない」

支援制度ができて  
おらず、  
職場の理解・協力  
が得られない



## マタハラ・パタハラが及ぼすもの

子供を産みづらい、育てづらい状況から

少子化⇒労働者の減少⇒生産性の下降⇒経済難  
という負のスパイラルを生み出す原因の一つとなります。

また、マタハラ・パタハラは働く意欲のある人の就労を  
難しいものにし、深刻な問題となっている待機児童問題も  
含めて職場の人材不足の状況を招いています。



## マタハラ・パタハラをなくすために

安心して妊娠・出産・育児ができる職場環境づくりを  
進めることによって、ハラスメントを防止していくこと  
が大切です。



### ☆ハラスメントに対する措置が講じられているか確認する

平成29年1月1日より、男女雇用機会均等法及び介護休業法に改正により、事業主にはハラスメントに対する措置を講じることが義務付けられています。

妊娠、出産、育児を安心してできるよう、事業主が「ハラスメントを許さない」という意思を周知し、相談や苦情に対する体制や、就業規則に休暇申請についての項目を記載する等、措置が講じられているかを自分自身でも確認しておくことが重要です。

### ☆妊娠、出産、育児を理解して協力する意識の啓発

妊娠は経験のない人から見たら、なかなか理解ができないことかもしれません。妊婦は急激なホルモンバランスの変化や、身体的変化から精神的に不安定になりがちです。それを支えるパートナーも、共に協力し模索してゆくの育児です。また、人により家庭環境はさまざま、働き方もそれぞれ違うということを理解し、協力することが大切です。

### ☆相互理解のできる職場環境づくり

誰がいつ休暇をとったとしても、業務が回っていくための体制づくりが大切です。制度等の利用により労働者に不公平が起こらないよう、措置を講ずることが重要です。

また、この環境づくりは労働者自身の病気や家族の介護などに直面した際にも活かされます。少子高齢化が進み、労働人口の減少は深刻な問題となっています。女性や高齢者、若者の労働力の確保、さらに育児や介護をしながらも働き続けることのできる社会の実現が求められます。

## ～ハラスメント 相談機関の紹介～

愛知労働局 雇用環境・均等部	052-972-0266
愛知三の丸庁舎内 ※9:30～17:00 土日祝年末年始は休み	
豊橋総合労働相談コーナー	0532-81-0390
豊橋労働基準監督署内 ※9:30～17:00 土日祝年末年始は休み	
愛知県女性総合センター	052-962-2527
女性相談員による相談 ※月～金 9:00～21:00 土日 9:00～16:00 祝日年末年始は休み	
愛知県女性相談センター 東三河駐在室	0532-54-5111
東三河福祉相談センター内 ※9:00～17:00 土日祝年末年始は休み	
蒲郡市 労働相談(予約制)	0533-66-1119
蒲郡市役所 観光商工課 ※月に1回(第2水曜日)13:00～16:00 予約は前日の午後まで	

## 男女共同参画サテライトセミナー

(共催：公益財団法人あいち男女共同参画財団)

### 「私らしいハッピーキャリアの法則を見つけるために」

とき・ところ：10月11日(木)がましんコミュニティホール

講師：(株)キャリアデザイン代表取締役

樋口貴子氏(1級キャリアコンサルティング技能士)

対象：愛知県在住、または県内企業等で働く女性約40名



### 問：65歳で退職した夫婦が85歳まで暮らすには、いくら必要でしょうか？

答え：おおよそ8千万円。

セミナー受講者の間で様々な意見と予想が飛び交いましたが、あまりに高額な回答に驚きの声が上がりました。

少子高齢化、晩婚化に加え、医学の発達に伴い今後さらに寿命が延びることが予測され、働く女性を取り巻く環境は変化しています。高度経済成長期には、男性(夫)の給料のみで子どもを高等教育まで受けさせることができていたものが、今は、ダブルインカムが必須です。男性は仕事、女性は家庭で育児、または介護を行うという役割分担では立ち行かなくなってきていると先生は指摘されました。実際、若い男性は、女性(パートナー)の就労を望むケースが増えているそうです。生涯未婚率の増加に伴い単身世帯が増え、離婚等でシングルファーザー、マザーが増加傾向にあります。現代社会は、それぞれが異なる生活背景を背負い働く、多様性の時代といえます。

女性活躍推進法が全面施行され(平成28年4月)、正規・非正規雇用問わず従業員数が301人以上の企業は女性の活躍に関する情報の公表を義務付けられました。数値目標を設定することは大切なことです。組織は、少数派でもその割合が3割を超えると、その声を無視できなくなるそうです。数値目標を定め、実行していくことにより、女性活躍を推進することが可能となります。

### 新世代の女性に求められる「しなやかに働く」とは…？

女性の人生は、選択の連続です。先のことはわからないとは思いますが、「ありたい姿」を描いておくこと、そして、時代の流れや組織の変化に合わせて柔軟に軌道修正していくこと、この2つの考え方が必要です。目先のことだけでなく、中・長期的(3~5年)なスパンで物事を考え、そのときの自分をイメージしてみるのも良いでしょう。決して折れることのないしなやかさを持ち、完璧でなくてもよいので最善を尽くし、私らしく、自分の強みを活かした働き方をしていくことが大切だとアドバイスをいただきました。

セミナー終了後は、講師の樋口先生も交え、異業種交流会を行いました。普段はなかなか会えない業種の女性との交流は、参加者の皆さんにとって、よい刺激になり、また、交流の輪が広がったようです。



## 男女共同参画ワークショップ

6月、8月、11月、1月の計4回予定

上記サテライトセミナー前後にワークショップを実施しました。ワークショップでは異業種の女性従業員でグループを構成し、お互いの経験や立場、改善したい点などについて話し合いを行いました。また、女性が育児や介護等の理由で仕事をあきらめることなく働き続けられるようヒントとなる話を聞き、キャリアデザインを描いてみることを目的としています。

# 婚活応援事業



## 『パーティーゲーム de 婚活』

とき・ところ:9月9日(日) 蒲郡市民会館 会議室1

当日は男性16名、女性14名の方にご参加いただき、海外ホームパーティーをイメージし、話題の人狼ゲーム、ワードウルフ、20の扉などのゲームを行いながら楽しく交流しました。

人狼ゲームをするのは初めて、という方が多くを占める中、3つのグループに分かれてゲームが始まると、心理戦が要となるゲームのため多くの質問が飛び交いました。最初は戸惑った様子の参加者も、次第に人狼と市民の戦いは白熱し、各グループからは笑顔や歓声が聞こえてきて、盛り上がりすぎて時間をオーバーしてしまうグループもありました。

最後に、気になる相手に、自分の連絡先を記したカードをスタッフ経由で渡してもらい、パーティーは終了しました。市民館内のカフェモーガンでの二次会に参加された方も多数みえました。



### 【参加者のコメント】

「思っていたよりリラックスして参加できました。」  
「楽しくコミュニケーションを取ることができ、また、話しやすい内容がよかったです。」  
「人見知りなので、良い経験になりました。」  
「色々なゲームが楽しかった。」  
「今後もこのようなイベントを開催してほしいです。」

## 『大人の鍋コン~作って、食べて、恋をして~』

とき:平成31年2月24日(日) 午前11時~午後2時(予定)  
ところ:蒲郡公民館 調理室  
対象:36歳~45歳で将来蒲郡市で暮らしていきたい独身男女  
募集:12月下旬~1月下旬予定  
※詳細は随時ホームページに掲載します。

大人の婚活。皆でおいしい鍋をつくりましょう。食べながら交流して、素敵な出会いをみつけませんか?



## 『マッチングテラス ~地元で出会おう! 蒲郡市出会いの場創出事業』

### 随時募集中

- ・男性・女性ばかりの職場で出会いがない。
- ・違う業種の人と出会いたいけどきっかけがない。
- ・共通の趣味を持った異性と楽しく交流したい。

そういった声にお応えするため、蒲郡市は違う企業や業種の人との交流を希望する人たちをマッチングさせ、新たな出会いのきっかけをつくるお手伝いをします。



### 《マッチングテラスご利用の流れ》

- 【STEP1】市にグループ登録をする
- 【STEP2】マッチング(他のグループを紹介)
- 【STEP3】交流会を開催
- 【STEP4】開催報告(次のグループとのマッチング)

申請方法等詳細については下記URL、またはQRコードよりホームページをご覧ください。また、ホームページからQRコードで電子申請することもできます。

<http://www.city.gamagori.lg.jp/unit/kyodo/matchingterrace.html>



# 男女共同参画啓発

# 川柳・ポスター・習字

入賞  
作品

蒲郡市では男女共同参画への意識向上と理解促進のために、川柳、ポスター及び習字を市内小中学生から募集したところ、多くのご応募をいただきました。選考の結果、各部門の入賞作品が決定し、それぞれ賞状と記念品を授与しました。

## 習字の部

## 川柳の部



優秀賞 高橋莉子さん

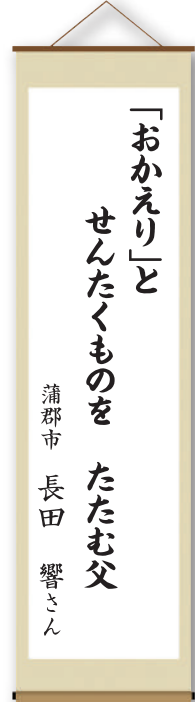


優秀賞 尾崎天音さん



最優秀賞 羽田愛海さん

中学生の部



中学生の部 最優秀賞



優秀賞 小石川柚葉さん

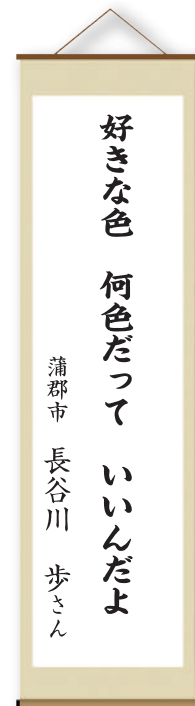


優秀賞 伊藤緋色さん



最優秀賞 広浜花梨さん

小学生の部



小学生の部 最優秀賞

## ポスターの部



優秀賞 小林千紘さん



優秀賞 中井涼乃さん



最優秀賞 松本莉奈さん